

各位

会社名 ログリー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉永 浩和
 (コード番号: 6579 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役CFO 岸本 雅久
 (TEL. 03-6277-5617)
 (URL. <https://corp.logly.co.jp/>)

減損損失の計上および通期業績予想と連結実績値の差異に関するお知らせ

当社では、2021年3月期において固定資産の減損による特別損失を計上しました。それにより、2020年8月12日に公表致しました、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」における2020年3月期通期の業績予想値と本日公表の連結実績値並びに個別実績値において差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期の業績予想値と連結実績値の差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値 (A)	3,879 ～4,085	149 ～208	141 ～200	91 ～131	50.45 ～72.62
実績値 (B)	3,961	174	205	△25	△7.09
増減額 (B-A)	△124 ～81	△33 ～25	4 ～63	△157 ～△117	
増減率 (%)	△3.0 ～2.1	△16.2 ～17.0	2.3 ～44.9	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	2,708	63	59	40	11.00

2. 差異の理由

第1四半期に発表した業績の上方修正の要因となりました、新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要により、当社の主力事業であるネイティブ広告プラットフォーム「LOGLY lift」において、インプレッション数が増加し、予想通り第4四半期にかけて、インプレッション数が高い数字で推移したため、売上高、営業利益に関しては下限予想と上限予想のレンジに収まり、経常利益に関しては下限予想、上限予想とも達成することが出来ました。経常利益に関しては、販売管理費が抑制的に推移したため、下限予想に対して144.9%の達成、上限予算に対して102.3%の達成となりました。

しかしながら、Juicer 事業において、コロナ禍によって営業活動による制約を受け、拡販の計画未達が続き、

更に Cookie 規制の高まりによって、新規顧客の獲得ハードルが上がり、FY2022 以降に売上計画のリカバーすることが短期的に困難であると判断したため、Juicer 事業ののれん 64 百万円とソフトウェア 84 百万円の計 149 百万円を減損損失として計上しました。そのことにより親会社に帰属する当期純利益が△25 百万円となり、下限予想の増減額△117 百万円、上限予想の増減額△157 百万円という結果となりました。

以上